

# オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

## 償還運用報告書(全体版)

第29期（償還日2024年10月1日）

作成対象期間（2024年7月12日～2024年10月1日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	1996年9月12日から2024年10月1日までです。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行ないます。
主な投資対象	トルコの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行ないます。

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104**（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金分配	期末騰落率	期中騰落率	期中騰落率				
	円 銭	円	%	%	%	%	%	%	百万円
25期(2021年7月12日)	8,336	0	9.3	△1.8	91.8	—	—	—	970
26期(2022年7月11日)	8,964	0	7.5	9.7	90.9	—	—	—	877
27期(2023年7月11日)	14,755	240	67.3	76.6	95.0	—	—	—	1,054
28期(2024年7月11日)	25,513	1,200	81.0	55.5	95.0	—	—	—	1,177
(償還時)	(償還価額)								
29期(2024年10月1日)	22,654.18	—	△11.2	△22.9	—	—	—	—	930

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。
* 参考指数（＝BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

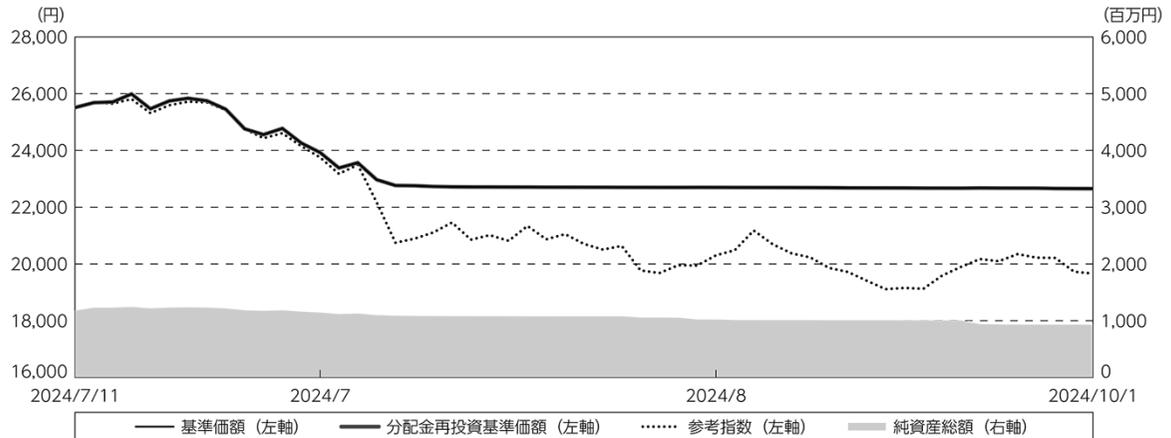
年月日	基準価額	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首)	円 銭	%	%	%	%	%	%	%
2024年7月11日	25,513	—	—	95.0	—	—	—	—
7月末	23,928	△6.2	△6.9	85.1	—	—	—	—
8月末	22,699	△11.0	△20.4	—	—	—	—	—
9月末	22,657	△11.2	△22.7	—	—	—	—	—
(償還時)	(償還価額)							
2024年10月1日	22,654.18	△11.2	△22.9	—	—	—	—	—

\* 騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首： 25,513円

期末(償還日)： 22,654円18銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： △ 11.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年7月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、BIST100指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2024年7月11日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (上 昇) 大手格付会社が国債の格付けを引き上げたこと、米利下げ期待が高まったこと
- (下 落) 中東の地政学的リスクへの警戒感や米景気後退懸念が高まったこと、トルコ・リラが対円で下落したこと
- (横ばい) 償還に伴い、保有有価証券の全売却を行ない、安定運用に切り替えたこと

## ○投資環境

トルコ株式市場は、期初、大手格付会社が国債の格付けを引き上げたことや米利下げ期待が高まったことなどを好感し上昇して始まりました。しかし、その後は、中東の地政学的リスクの高まりや一部大手銀行の減益決算を受けて下落に転じました。8月以降も、米国の景気後退懸念を背景に続落し、その後も国内景気の減速懸念に加え、一部の大手企業が市場予想を下回る決算を発表したことなどから軟調な推移となり、当期において株式市場は、現地通貨ベースで下落となりました。

為替市場では、国内投資家による米ドル需要が強まりつつあるとの観測を背景にトルコ・リラは対米ドルで下落しました。一方、日銀の金融政策修正などにより主要通貨に対して円高が進行したため、トルコ・リラは対円で大幅に下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・期中の主な動き

- (1) 業種配分では、期初においては、生活必需品、金融などをオーバーウェイト（参考指数より高い投資比率）とし、素材、コミュニケーション・サービスなどをアンダーウェイト（参考指数より低い投資比率）としました。
- (2) 個別銘柄では、トルコ航空（旅客航空輸送）、BIMビシュレジッキ・マーザラージ（生活必需品流通・小売り）、コカコーラ・アイスセック（飲料）などを上位に組み入れました。
- (3) 償還に向け、保有有価証券の全売却を行ないました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が22.9%の下落となったのに対して、基準価額は11.2%の下落となりました。

### （主なプラス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った生活必需品セクターをオーバーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った生活必需品流通・小売り株や飲料株をオーバーウェイトとしたこと

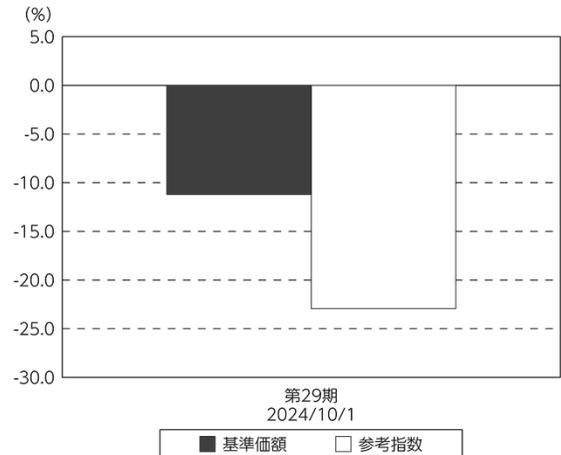
### （主なマイナス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った素材セクターをアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った繊維・アパレル・贅沢品株や旅客航空輸送株をオーバーウェイトとしたこと

## ◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時22,654.18円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口あたり23,380円となりました。

#### 第1期～第4期

（上 昇） 国営企業の民営化、財政赤字の削減やインフレ率低下へ積極的に取り組む政府の姿勢を好感したこと、1999年に発生した大地震の復興に向けたトルコ国内の社会、経済の改革に対する国際的な評価が高まったこと、トルコがEU（欧州連合）の正式加盟候補となり国際的な地位が飛躍的に向上したこと

#### 第5期～第6期

（下 落） 金融システムや政情への不安から資金の流動性が極端に低下し短期金利が急騰する危機的状況となったこと、トルコが変動相場制への移行（実質的な通貨切り下げ）を余儀なくされたこと、米国同時多発テロ以降の観光産業の不振、中東情勢の緊迫化による直接投資の減退など、経済回復進展への懸念が高まったこと

#### 第7期～第11期

（上 昇） 中央銀行がインフレ率の低下を背景に複数回にわたって政策金利の引き下げを実施したこと、政府が法人税率を引き下げる計画を発表したこと、外国からの直接投資の増加や堅調な国内景気を好感したこと

**第12期～第13期**

（下 落）米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題を背景とした信用リスク不安や米景気の減速懸念により世界的な株安の影響を受けたこと、世界的に金融セクターが軟調に推移する中、トルコ株式市場で大きなウェイトを持つ金融株が大幅に下落したこと

**第14期～第17期**

（上 昇）世界景気の回復期待が高まり世界的に株高となったこと、中央銀行による政策金利の追加引き下げが好感されたことや、国内景気が緩やかに回復したこと、世界的な金融緩和観測が高まったこと、欧州債務危機懸念がEU首脳会合での各種合意を受けて後退したこと

**第18期～第22期**

（下 落）トルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂や、その後のエルドアン大統領による大規模な軍部粛清や非常事態宣言などから同国の政治・経済への先行き不透明感が高まったこと、インフレ率の高まりや経常収支の赤字拡大、大手銀行の不良債権増加などが懸念されたこと

**第23期～第26期**

（横ばい）トルコ軍によるシリアへの軍事作戦によって地政学的リスクが高まったこと、新型コロナウイルスの感染がトルコでも急拡大し経済活動が急速に落ち込んだこと、一方、トルコ・リラ安を抑制できなかった中央銀行総裁と財務相の交代を受け、金融政策の正常化が期待されたこと、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展が好感されたこと

**第27期～第29期**

（上 昇）多数の国内投資家が株式市場に新規参入したこと、金融政策正常化を背景に、外国人投資家が市場に戻るとの期待が高まったこと、野党が勝利した2024年3月末の統一地方選後にエルドアン大統領が金融政策の正常化を容認する姿勢を示したこと

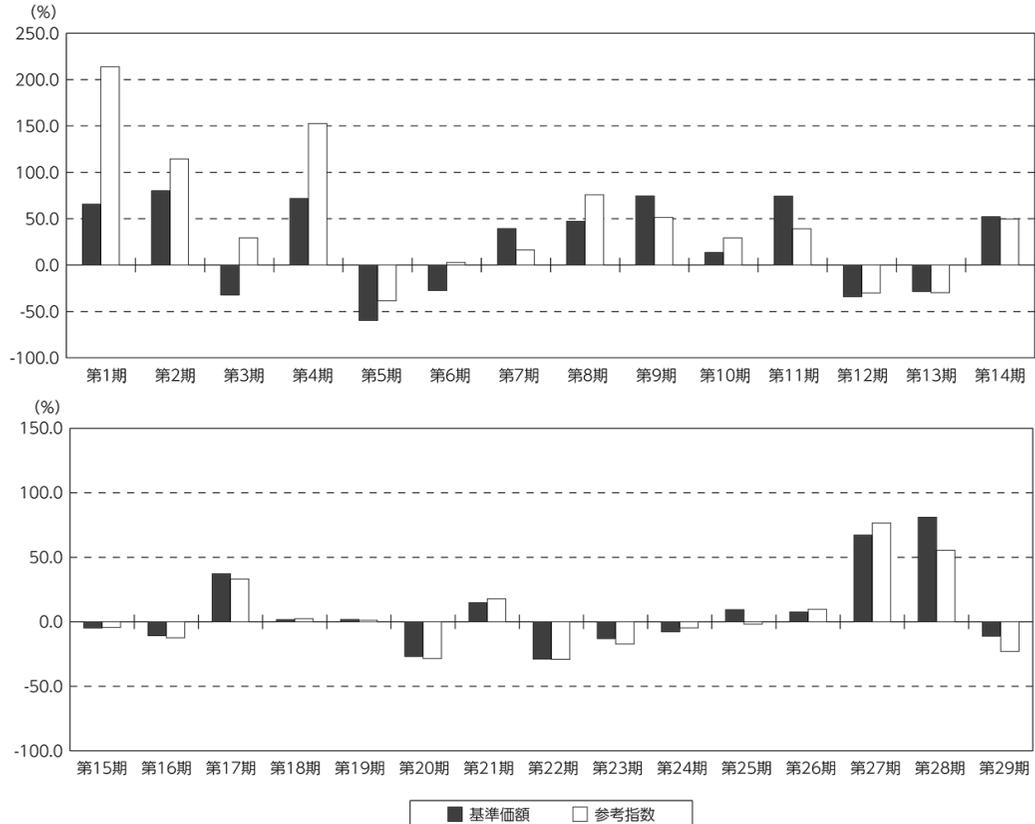
## ○参考指数との対比

設定来の基準価額と参考指数の対比は以下のようになりました。

### （主な差異要因）

- ・保有銘柄の銘柄選択
- ・信託報酬などのコスト負担

<基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）>



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、第13期からBIST100指数（円換算ベース）です。第1期～第12期は、I S E National-100指数（現地通貨ベース）を使用しております。

当ファンドは約款の規定により、2024年10月1日をもちまして定時償還となりました。ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年7月12日～2024年10月1日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 115	% 0.499	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 55 ）	（ 0.240 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 54 ）	（ 0.235 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 6 ）	（ 0.025 ）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.038	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	（ 9 ）	（ 0.038 ）	
(c) そ の 他 費 用	23	0.099	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 22 ）	（ 0.097 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	147	0.636	
期中の平均基準価額は、23,094円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

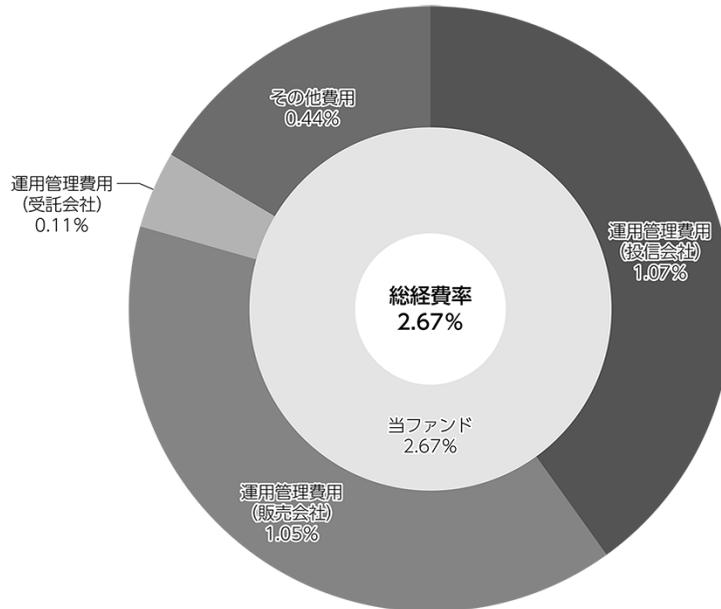
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.67%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの其他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2024年7月12日～2024年10月1日）

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	トルコ	百株 —	千トルコリラ —	百株 32,510	千トルコリラ 227,201

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

（2024年7月12日～2024年10月1日）

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	977,434千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	973,005千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.00

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

（2024年7月12日～2024年10月1日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年10月1日現在)

2024年10月1日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 外国株式

銘	柄	期首(前期末)	
		株	数
(トルコ)			百株
AKBANK T. A. S			2,421
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII			109
AKSIGORTA			2,585
ASELSAN ELEKTRONIK SANAYI			439
CIMSA CIMENTO SANAYI VE TIC			730
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK			492
FORD OTOMOTIVE SANAYI AS			118
INDEKS BILGISAYAR SIS TEMLERI MUHENDISLI			5,801
KOC HLDGS			770
LOGO YAZILIM SANAYI VE TICAR			526
TURK SISE VE CAM FABRIKALARI AS			252
TURK HAVA YOLLARI AO			862
TURKIYE GARANTI BANKASI			512
TURKIYE IS BANKASI AS-C			8,195
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE			921
YAPI VE KREDI BANKASI A. S.			4,476
HACI OMER SABANCI HOLDING			1,006
COCA-COLA ICECEK AS			259
BIM BIRLESIK MAGAZALAR AS			428
TAV HAVALIMANLARI HOLDING AS			331
MIGROS TICARET A. S			111
MAVI GIYIM SANAYI VE TICA-B			892
AGESA HAYAT VE EMEKLILIK AS			262
合	計	株 銘	数 柄 数
			32,510 23

\*単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

（2024年10月1日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 939,137	% 100.0
投資信託財産総額	939,137	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2024年10月1日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	939,137,794
コール・ローン等	939,131,687
未収利息	6,107
(B) 負債	8,929,735
未払解約金	3,493,880
未払信託報酬	5,427,816
その他未払費用	8,039
(C) 純資産総額(A-B)	930,208,059
元本	410,612,117
償還差益金	519,595,942
(D) 受益権総口数	410,612,117口
1万口当たり償還価額(C/D)	22,654円18銭

(注) 期首元本額は461,425,947円、期中追加設定元本額は16,993,676円、期中一部解約元本額は67,807,506円、1口当たり純資産額は2.265418円です。

## ○損益の状況（2024年7月12日～2024年10月1日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	728,713
受取配当金	343,564
受取利息	385,149
(B) 有価証券売買損益	△112,394,360
売買益	26,772,642
売買損	△139,167,002
(C) 信託報酬等	△ 6,443,598
(D) 当期損益金(A+B+C)	△118,109,245
(E) 前期繰越損益金	484,841,408
(F) 追加信託差損益金	152,863,779
(配当等相当額)	( 367,450,738)
(売買損益相当額)	(△214,586,959)
償還差益金(D+E+F)	519,595,942

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	1996年9月12日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年10月1日		資産総額	939,137,794円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	8,929,735円
				純資産総額	930,208,059円
受益権口数	100,000,000口	410,612,117口	310,612,117口	受益権口数	410,612,117口
元本額	100,000,000円	410,612,117円	310,612,117円	1万円当たり償還金	22,654円18銭
最近10期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第18期	2,483,003,128円	4,054,828,239円	16,330円	350円	3.5%
第19期	1,958,966,454	3,192,060,000	16,295	320	3.2
第20期	1,709,444,168	2,017,501,538	11,802	120	1.2
第21期	2,530,787,513	3,379,043,910	13,352	200	2.0
第22期	2,854,845,169	2,713,179,463	9,504	0	0.0
第23期	2,616,075,695	2,162,923,452	8,268	0	0.0
第24期	1,836,448,252	1,400,094,717	7,624	0	0.0
第25期	1,164,205,918	970,494,056	8,336	0	0.0
第26期	979,335,181	877,897,505	8,964	0	0.0
第27期	714,548,137	1,054,348,025	14,755	240	2.4
第28期	461,425,947	1,177,235,069	25,513	1,200	12.0

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	22,654円18銭
----------------	------------

## ○お知らせ

該当事項はございません。